

法人（事業所）理念		NPO法人いっぽの会は、奈良県内で主に聴覚障害児者に対する福祉サービスの充実をめざして活動している団体である。聴覚障害と知的障害等をあわせもつ「ろう重複障害者」のための就労や生活の場としての〈いっぽの家〉、聴覚障害児の発達支援や放課後支援をおこなうための〈すてっぷ〉、聴覚障害児者やその家族のために福祉サービス利用等の相談事業をおこなう〈ぼけっと〉の3つの事業所を運営している。		
支援方針		主に聴覚障害をもつ幼児を中心として、手話のある環境を整え、言語・コミュニケーション力の発達をうながすとともに、同じ聴覚障害をもつ同年齢や異年齢の子どもたちと関わりながら社会性を育て、社会的自立につながる力の基礎を身につけることを目的とする。		
営業時間		11:00～19:00 (学校休業期間) 10:00～18:00	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本 人 支 援	健康・生活	身辺自立（着替え、排せつ、食事など）の確立に向けた支援。補聴器や人工内耳の効果的な装用のための支援及び補聴器や人工内耳の大切さを知り、自分で管理する力の基礎を育てる支援。		
	運動・感覚	基礎的な運動能力の確立、向上に向けた支援。体の使い方やバランス感覚の向上に向けた支援。手指の巧緻性、せいさく活動などを通じた作業能力の向上に向けた支援。補聴器や人工内耳を効果的に活用し、聴覚活用をする力を育てるための支援。		
	認知・行動	事業所の生活の流れやきまりなどを理解するための支援。個々の子どもの認知特性やこだわりなどを把握し、それぞれの特性に寄り添いながら、集団生活に無理なく参加できるようにするための支援。		
	言語・ コミュニケーション	聴覚障害があるため言語獲得に多くの課題があることを踏まえ、個々の子どもの聴覚活用の状況や得意なコミュニケーション手段などを把握しながら、音声言語と手話言語の両方が使える環境を整え、話しことばの獲得や語彙の拡充を支援し、書きことばの習得にもつなげる。		
	人間関係・社会性	同じ聴覚障害をもつ同年齢や異年齢の子どもとの集団形成を基本とし、手話環境を整えるとともに掲示物や絵カードなど見てわかる情報提示をおこない、子どもたちが生き生き、のびのびすごせる場所での人間関係の形成や社会性の向上をめざす。		
家族支援		連絡帳や公式LINEなどで定期的に連携するとともに、保護者交流会を開催する。	移行支援	ろう学校幼稚部と定期的にケース会議を開き連携を深めるとともに、在籍する地域の保育所とも連携を図る。
地域支援・地域連携		地域の手話サークルや聴覚障害者協会などと交流を行う。	職員の資質の向上	他の事業所との連絡会や研修会などに積極的に参加し、資質の向上を図る。
主な行事等		保護者交流会および学習会（年3～4回）。買い物体験。公園お散歩。ハイキング。おたのしみ会。調理体験。交通安全教室。社会見学（消防署、中央市場など）。避難訓練（火災、地震、水害）。		